実践で使いたい!

最終回

因と修正方法

仕事で毎日使うExcelには、あまり知 られていない機能がたくさんあります。 この連載では、経理業務や人事業務で使 える便利テクニックを紹介します。

テクニカルライター 岡田 泰子

されることがあります。 のに、「#REF!」や「#DI このような、数式に関連したエ / 0!」のようなエラーが表示

します。 ラー表示の原因と修正方法を解説 表示されたら 「#REF!」と

「#REF!」というエラー

が

0

数式バーを確認する

数式の「#REF!」を選択して

ルや「0」と入力されたセルを参

行の削除が直前でない場合は、

調べてから削除を取り消したり、 除したことにあります。 照しているセルがある行や列を削 表示される主な原因は、 して、どのセルが削除されたかを エラーが表示されたセルを選択 数式で参

されていた数値を削除しただけな

エクセルでは、行やセル、入力

きます。 セル 「#REF!」と表示された (B4) を選択する 画面

0

計算結果が表示される

数式を修正するとエラーを解消で

8 とがわかる 数式で参照するセルがあったこ 「B2」と「B3」の間 に

から数値の

セルをクリック

ト)を押す は [Ctrー] キー + [Z] キー (操作を元に戻すショートカッ 直前に行を削除していた場合 数式で参照するセル 行

元に戻る (画面2) が

表示されたときも、

同じように操

をつくり直す方法も有効です。 [Enter] キーを押して数式

列を削除して「#REF!」

と

作してください。 表示されたら #DIV ح[-0

の割る数 # D I V (分母) として空白のセ 0 は、 割 り算

画面1 3 =B2+#REF!+B3 fx ŧ В4 ·····2 Α В D 1 全額 2 A商品 50,000 3 C商品 78,000 4 合瓜 #REF! 5 4 [Ctrl] + [Z] O 6

画面2

	A 商品	B 金額 50	須 ,000		С	D	Е	
		50						
			,000					
3 B	 - -						 	
	商品	40	,000	6				
4 C	商品	78	,000	•••••			 	
5 1	計	168	,000	0				
6								

画面4

	А	В	С	D
1		金額	比率	
2	A 商品	50,000	#DIV/0!	
3	B商品	40,000		
4	C商品	78,000		
5	合計	=B2+B3+	B4 3	
6			4 [E	nter]

画面5

Cź	C2 → : × ✓ fx = B2/B5						
	А	В	С	D			
1		金額 .	比率				
2	A 商品	50,000	0.298	6			
3	B商品	40,000		f :			
4	C商品	78,000					
5	合計	168,000	6				
C	-		•				

画面6



画面7

	А	В	С	D
1		金額	比率	
2	A 商品	50,000	=B2/B5	
3	B商品	40,000		
4	C商品.	78,000		
5	合計	168,000	8	
6	=:		4	[Enter]

 f_x

С

比率

=B2/B5

0.298

D

: \times

В

金額

50,000

40,000

78,000

168,000

画面8

C2

1

2

3

4

5

Α

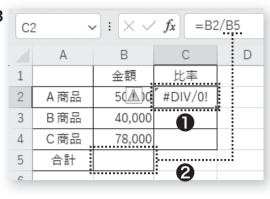
A 商品

B商品

C商品

合計

画面3



れたセル (画面3) # D I V (C2) を選択する (0!」と表示さ ば解消できます。

白のセルに数値を入力したりすれ

分母を

る数式を入力する(画面4) いることがわかる のセル(B5)が分母になって 数式バーを確認すると、空白 [Enter] キーを押す B5セルに金額の合計を求め

に表示されるエラーです。 れているセルの数値を削除した際 照していたり、 「0」以外にしたり、 割る数として使わ

6

金額の合計がB5セルに表示

0 される れる セルに正しい計算結果が表示さ

空

表示されたら 「#VALUE!]と

すれば解消できます。 を参照していることにあります。 で数値以外のデータが入ったセル 数値が入ったセルを選択した が表示される主な原因は、数式 「#VALUE!」というエラ セルの文字を数値に変えたり

> 6 4

エラーが表示されていたC2 (画面5

- 0 2 れたセル 5のセルを参照していることが 算の割る数(分母)として、 (画面6) 合計」の文字が入っているA 「#VALUE!」と表示さ 数式バーを確認すると、 $\stackrel{\bigcirc{C}}{\overset{2}{2}}$ を選択する 割り
- ように変更する 入ったセル(B5)を参照する 確認できる 割る数として、 エラーが表示されていたC2 [Enter] キーを押す (画面7 合計の数値 が
- される (画面8) セルに、正しい計算結果が表示 J